

科目名	単位数	課程・学科・学年	使用教科書名(出版社)
日本史研究A	2	全日制・普通科・3年次	史料で探る茨城の歴史(山川出版社)
科目の目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。		

時期 月 週 日	単元・題材名	指導 時数	単元・題材で育成する資質・能力 <単元・題材の評価規準>	評価方法	学習活動	主な言語活動	各教科等横断的な資質・能力の育成に関わる他教科等との関連
4月 前半 8日	(1) 原始・古代の日本と東アジア イ 日本文化の黎明と古代国家の形成	4	①知識・技能 日本文化の黎明を理解することができる。 日本文化の黎明に関する諸資料を収集することができる。 ②思考・判断・表現 日本文化の黎明について、比較・関連させながら表現することができる。 ③主体的に取り組む態度 日本文化の黎明について、関心をもち課題意識を高めることができる。	日本文化の黎明のレポート作成をとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 日本文化の黎明のレポート作成をとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。 日本文化の黎明のレポート作成をとおして課題について、比較、関連を考えている。 日本文化の黎明について、関心と課題意識を高めている。	○原始の社会の概容とその変化にも触れ、小国の形成や互いの抗争と邪馬台国によるそれらの連合等について、東アジア世界との交流によってもたらされた文物・制度の影響にも着目しながら考察する。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	○中国の歴史書の読解の際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
4月 後半 8日	(1) 原始・古代の日本と東アジア イ 日本文化の黎明と古代国家の形成	4	①知識・技能 古代国家の形成を理解することができる。 古代国家の形成に関する諸資料を収集することができる。 ②思考・判断・表現 古代国家の形成について、比較・関連させながら表現することができる。 ③主体的に取り組む態度 古代国家の形成について、関心をもち課題意識を高めることができる。	古代国家の形成の説明・発表をとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 古代国家の形成の説明・発表をとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。 古代国家の形成の説明・発表をとおして課題について、比較、関連を考えている。 古代国家の形成について、関心と課題意識を高めている。	○東アジア世界との交流の諸相を踏まえ、畿内など各地に残る文化財の特色に着目して、仏教文化が時代とともにどのように移り変わったかを考察する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	○絵画資料を扱う際に、美術で育成した資質・能力を活用する。
5月 前半 8日	(1) 原始・古代の日本と東アジア ウ 古代国家の推移と社会の変化	4	①知識・技能 古代の社会の変化を理解することができる。 古代の社会の変化に関する諸資料を収集することができる。 ②思考・判断・表現 古代の社会の変化について、比較・関連させながら表現することができる。 ③主体的に取り組む態度 古代の社会の変化について、関心をもち課題意識を高めることができる。	古代の社会の変化の単元テストをとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 古代の社会の変化の単元テストをとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。 古代の社会の変化の単元テストをとおして課題について、比較、関連を考えている。 古代の社会の変化について、関心と課題意識を高めている。	○密教や浄土教の変容、仮名文字の成立による和歌や女流文学の発達について、当時の貴族の生活と関連させながら考察する。	○グループに分かれて発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	○絵画資料を扱う際に、美術で育成した資質・能力を活用する。
5月 後半 8日	(2) 中世の日本と東アジア イ 中世国家の形成	4	①知識・技能 中世国家の形成を理解することができる。 中世国家の形成に関する諸資料を収集することができる。 ②思考・判断・表現 中世国家の形成について、比較・関連させながら表現することができる。 ③主体的に取り組む態度 中世国家の形成について、関心をもち課題意識を高めることができる。	中世国家の形成の説明・発表をとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 中世国家の形成の説明・発表をとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。 中世国家の形成の説明・発表をとおして課題について、比較、関連を考えている。 中世国家の形成について、関心と課題意識を高めている。	○鎌倉幕府の性格を、領主層による土地支配や公武関係の実態に着目して、多面的・多角的に考察する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	○中国の歴史書の読解の際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
6月 前半 8日	(2) 中世の日本と東アジア ウ 中世社会の展開	4	①知識・技能 中世社会の展開を理解することができる。 中世社会の展開に関する諸資料を収集することができる。 ②思考・判断・表現 中世社会の展開について、比較・関連させながら表現することができる。 ③主体的に取り組む態度 中世社会の展開について、関心をもち課題意識を高めることができる。	中世社会の展開の説明・発表をとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 中世社会の展開の説明・発表をとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。 中世社会の展開の説明・発表をとおして課題について、比較、関連を考えている。 中世社会の展開について、関心と課題意識を高めている。	○中世社会がどのように展開・変貌し、今日のつながりが深い近世社会の特色が現れてきたかを、南北朝の動乱や応仁の乱後の戦国大名による領国経営などに留意して考察する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	○史料読解の際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
6月 後半	(3) 近世の日本と世界 イ 近世国家の形成	4	①知識・技能 近世国家の形成を理解することができる。 近世国家の形成に関する諸資料を収集することができる。 ②思考・判断・表現 近世国家の形成について、比較・関連させながら表現することができる。 ③主体的に取り組む態度 近世国家の形成について、関心をもち課題意識を高めることができる。	近世国家の形成のレポート作成をとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 近世国家の形成のレポート作成をとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。	○織豊政権や江戸幕府によって、中世とは異なる近世国家が成立していく過程や近世社会の特質について、世界の動向と関連させて考察する。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	○農業や工業の技術発達について学習する際に、中学校で学んだ技術で育成した資質・能力を活用する。

8日		②思考・判断・表現 近世国家の形成について、比較・関連させながら表現することができる。	近世国家の形成のレポート作成をとおして課題について、比較、関連を考えている。			
7月 前半 8日	(3) 近世の日本と世界 イ 近世国家の形成	①知識・技能 近世国家の形成を理解することができる。 近世国家の形成に関する諸資料を収集することができる。	近世国家の形成の単元末テストをとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 近世国家の形成の単元末テストをとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。	○織豊政権期と江戸時代初期の文化の特色を、対外交流の動向や各地の都市の成長などと関連付けて考察する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	○史料読解の際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
7月 後半 8日	(3) 近世の日本と世界 ウ 産業経済の発展と幕藩体制の変容	①知識・技能 幕藩体制の変容を理解することができる。 幕藩体制の変容に関する諸資料を収集することができる。	幕藩体制の変容の単元末テストをとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 幕藩体制の変容の単元末テストをとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。	○農村工業の発達などにみられる近代工業の芽生え、洋学や国学など新たな学問・思想の発展とその社会的影響、寺子屋など庶民教育機関の普及や出版文化の発達に着目させ、近代を準備する新しい要素の形成について考察する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	○史料読解の際に、国語で育成した資質・能力を活用する。
9月 前半 8日	(4) 近代日本の形成と世界 ア 明治維新と立憲体制の成立	①知識・技能 立憲体制の成立を理解することができる。 立憲体制の成立に関する諸資料を収集することができる。	立憲体制の成立の単元末テストをとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 立憲体制の成立の単元末テストをとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。	○我が国の領土がロシアなどとの間で国際的に画定されたことを考察させるとともに、我が国が国際法上正当な根拠に基づき竹島、尖閣諸島を正式に領土に編入した経緯も取り上げる。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	○農業や工業の技術発達について学習する際に、中学校で学んだ技術で育成した資質・能力を活用する。
9月 後半 8日	(4) 近代日本の形成と世界 イ 国際関係の推移と立憲国家の展開	①知識・技能 近代日本の国際関係の推移を理解することができる。 近代日本の国際関係の推移に関する諸資料を収集することができる。	近代日本の国際関係の推移の説明・発表をとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 近代日本の国際関係の推移の説明・発表をとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。	○条約改正の経緯に着目して、諸法典の整備など国内体制の確立が図られたことを考察する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	○絵画資料を扱う際に、美術で育成した資質・能力を活用する。
10月 前半 8日	(4) 近代日本の形成と世界 ウ 近代産業の発展と近代文化	①知識・技能 近代産業の発展を理解することができる。 近代産業の発展に関する諸資料を収集することができる。	近代産業の発展のレポート作成をとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 近代産業の発展のレポート作成をとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。	○殖産興業政策を基礎に、金融や交通・通信など産業基盤の整備が進められ、松方財政を契機に資本の蓄積が進み、繊維工業、軍需工業を中心とした産業の急速な発展によって我が国の資本主義が確立したことを考察する。	○レポート発表をもとにグループで相互評価し、自分の意見を説明する。	○農業や工業の技術発達について学習する際に、中学校で学んだ技術で育成した資質・能力を活用する。
10月 後半 8日	(5) 両世界大戦期の日本と世界 ア 政党政治の発展と大衆社会の形成	①知識・技能 政党政治の発展を理解することができる。 政党政治の発展に関する諸資料を収集することができる。	政党政治の発展の説明・発表をとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 政党政治の発展の説明・発表をとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。	○デモクラシーの思潮など国内外の政治思想や、都市化の進展など経済・文化の新たな状況に着目して、日露戦争からの国民各層の政治意識の変化、第一次護憲運動や米騒動、原政内閣の成立、普通選挙運動や護憲三派内閣の成立などについて考察する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	○政党内閣の成立に関して政治・経済の内容を活用する。
11月 前半	(5) 両世界大戦期の日本と世界 イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会	①知識・技能 第一次世界大戦を理解することができる。 第一次世界大戦に関する諸資料を収集することができる。	第一次世界大戦の説明・発表をとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 第一次世界大戦の説明・発表をとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。	○第一次世界大戦以前の国際関係、その戦禍や影響、ヴェルサイユ体制・フシントン体制など国際的な協調体制、中国・朝鮮ほか世界的な民族運動の高揚、ロシア革命とその影響などに着目して、国際社会における日本の立場や対外政策の変化について考察する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	○史料読解の際に、国語で育成した資質・能力を活用する。

8日		②思考・判断・表現 第一次世界大戦について、比較・関連させながら表現することができる。	第一次世界大戦の説明表をとおして課題について、比較・関連を考えている。			
		③主体的に取り組む態度 第一次世界大戦について、関心をもち課題意識を高めることができる。	第一次世界大戦について、関心と課題意識を高めている。			
11月後半 8日	(5) 両世界大戦期の日本と世界 イ 第一次世界大戦と日本の経済・社会	①知識・技能 1910年代の経済・社会を理解することができる。 1910年代の経済・社会に関する諸資料を収集することができる。	1910年代の経済・社会の単元末テストをとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 1910年代の経済・社会の単元末テストをとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。	○この時期の急激な経済上の変化が日本の社会にどのような影響をもたらしたか、それが大戦の終結や関東大震災に伴ってどのように顕在化したかについて考察する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	○農業や工業の技術発達について学習する際に、中学校で学んだ技術で育成した資質・能力を活用する。
		②思考・判断・表現 1910年代の経済・社会について、比較・関連させながら表現することができる。	1910年代の経済・社会の単元末テストをとおして課題について、比較・関連を考えている。			
		③主体的に取り組む態度 1910年代の経済・社会について、関心をもち課題意識を高めることができる。	1910年代の経済・社会について、関心と課題意識を高めている。			
12月前半 8日	(5) 両世界大戦期の日本と世界 ウ 第二次世界大戦と日本	①知識・技能 第二次世界大戦と日本を理解することができる。 第二次世界大戦と日本に関する諸資料を収集することができる。	第二次世界大戦と日本の単元末テストをとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 第二次世界大戦と日本の単元末テストをとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。	○中国との戦争の勃発とその長期化、それがもたらした欧米諸国との外交関係の変化、国内経済や国民生活への影響、学問・思想・教育などの分野における統制などに着目して、我が国で全体主義的な国家体制が進展し、やがて米英等の諸国との戦争に拡大していった過程について考察する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	○冷戦体制の形成につながる状況を理解する際に、政治・経済の学習内容を活用する。
		②思考・判断・表現 第二次世界大戦と日本について、比較・関連させながら表現することができる。	第二次世界大戦と日本の単元末テストをとおして課題について、比較・関連を考えている。			
		③主体的に取り組む態度 第二次世界大戦と日本について、関心をもち課題意識を高めることができる。	第二次世界大戦と日本について、関心と課題意識を高めている。			
1月前半 4日	(6) 現代の日本と世界 ア 現代日本の政治と国際社会	①知識・技能 現代日本と国際社会を理解することができる。 現代日本と国際社会に関する諸資料を収集することができる。	現代日本と国際社会の単元末テストをとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 現代日本と国際社会の単元末テストをとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。	○東西関係を軸とする世界の動向の中で国連に加盟し国際社会への復帰を果たしたこと、経済・文化を含む国際交流やODA、冷戦の終結を契機としたPKOなどの国際貢献も含めて、我が国が国際社会において重要な役割を果たしてきたことを考察する。	○資料をもとに話し合い活動を通して自分の意見を説明させる。	○日本の国際貢献について理解を深める際に、政治・経済の学習内容を活用する。
		②思考・判断・表現 現代日本と国際社会について、比較・関連させながら表現することができる。	現代日本と国際社会の単元末テストをとおして課題について、比較・関連を考えている。			
		③主体的に取り組む態度 現代日本と国際社会について、関心をもち課題意識を高めることができる。	現代日本と国際社会について、関心と課題意識を高めている。			
1月 ～ 3月	(6) 現代の日本と世界 イ 経済の発展と国民生活の変化	①知識・技能 現代日本の国民生活の変化を理解することができる。 現代日本の国民生活の変化に関する諸資料を収集することができる。	現代日本の国民生活の変化の単元末テストをとおして歴史を考察する基本的な方法を理解している。 現代日本の国民生活の変化の単元末テストをとおして資料をもとに歴史を考察する技能を身につけている。	○経済の国際化が進む中で、先進国としての国際的地位の確立、人々の行動範囲の海外への拡大、国際交流の活発化などが国民生活に与えた影響を考察する。	○グループに分かれて考察内容を発表し合い、比較・検討をとおして考察を深める。	○情報化社会の広がりについて、情報の能力を活用する。
		②思考・判断・表現 現代日本の国民生活の変化について、比較・関連させながら表現することができる。	現代日本の国民生活の変化の単元末テストをとおして課題について、比較・関連を考えている。			
		③主体的に取り組む態度 現代日本の国民生活の変化について、関心をもち課題意識を高めることができる。	現代日本の国民生活の変化について、関心と課題意識を高めている。			
指導時間数の計		70				